

ゆかり

みなさん、こんにちは。

青山学院大学・古橋研究室の林ゆかり・荒川しょうた・金澤まゆです。

突然ですが、みなさんは「大学の研究室」と聞いて、どんなイメージを思い浮かべますか？
静かに研究する空間？ 難しい数式や分厚い本？ いかがでしょうか。
...そんなイメージをくつがえす、ちょっと風変わりで、めちゃくちゃアクティブな私たちの研究室的
日常を、今日はご紹介していきたいと思います。

まずは、我らがボス・古橋教授について紹介させてください。

古橋研究室といえば、やっぱりこの人。
フィールドワーク至上主義、アウトプット命、そして時には「まずは日本語からやり直しきなさい！」
と、言葉に容赦はありません。
Z世代にもガチでぶつかってくる、そんな教授です。

学生からみた古橋教授を一言で表すと、「GeoGod(地図神)」だと思っています。私たちも見習って
いきたいです！

そんな古橋教授、実は現在イタリアのミラノに留学中です。
8時間の 時差はありますが、ゼミは週1でオンライン開催しています。
「今週のゼミ、イタリア時間で午前4時だよ〜！」なんてやりとりもあり、毎週楽しく授業行ってい
ます！笑

しょうた

私たちは古橋研究室に所属してから、いろいろなプロジェクトに挑戦しました。

まずご紹介するのは「International Humanitarian Mapathon」です。災害や人道支援を目的に、
世界中の学生が地図を描くイベントで、私たちも参加しました。

前半のPart1では、Re:EarthというGISツールを使って、能登半島地震のストーリーマップを作成
しました。避難所の位置や支援制度などを視覚的にまとめたものです(動画で紹介)。

後半のPart2では、与論島の農地クライシスマッピングを行いました。クライシスマッピングとは、
自然災害等の危機的状況下で、被害状況等がわかる地図を作り、世の中に発信することです。
麗澤大学やUCLAなど、国内外の学生と協力し、1週間で地図をほぼ完成させました。

次に、埼玉県横瀬町でのフィールドワークをご紹介します。ドローンを使った防災訓練を体験しま
した。その様子はVlogにもまとめています(動画再生中にエピソード紹介)。

また、私たちの活動は国内にとどまりません。FOSS4G ASIAやSOTMなどの国際会議に参加し、現地のマッパーと交流しながら、英語で研究発表も行いました。

さらに今年の8月には、タイの地図系企業TomTomと連携し、OpenStreetMapの誕生日を記念したマップソンを開催する予定です。マップソンとは、複数人で協力して衛星画像などをもとに地図を作成するイベントです。

現在、みんなで準備を進めています。

まゆ

そして、卒業論文に向けた研究も忘れていません。

こちらは、ゼミ4年生による制作作品です。

Minecraftを用いて青山学院大学・相模原キャンパス7階tを再現したもので、防災ミッションを盛り込み、防災オンラインイベントに活用しました。

さらに、今回のジオ展に向け、「ジオガチャ」も企画しました。

1回100円、全5種類、当たり付きです。

さ～て何が当たるんでしょうかね～？

今回のジオガチャの作成風景をご覧ください。

(動画再生)

ゼミ生みんなで時間をかけ、思いをこめて作成しました！ぜひみなさんお試しください！

古橋研究室のブースはこちらになります！2番です！2番！

最後に、イタリアにいる古橋教授からも、ビデオメッセージをいただきました。

だそうです～ちゃおちゃお！（笑）ありがとうございました～！

「こんな研究室、楽しそう。みなさんが学生の時に入ってみたかったかも」
そう思ってもらえたら、とても嬉しいです。

最後のZ世代として、ほぼ限界大学生を楽しみながら、ちょっとだけ未来をよくする。
そんな挑戦を、これからも続けていきます！

私たちの活動はお手持ちのスマートフォンでこちらからQRコードを読み込んでいただくと、確認できます！

ありがとうございました！